【札幌圏での大規模災害対策を学び、考える】連続セミナー 第１回

大規模災害が発生したとき 被災地では何が起こるのか？

日 時 2016 年 10 月 17 日（月）
18:30～21:00

会 場 札幌エルプラザ 公共４施設４階
大研修室Ａ・Ｂ（札幌市北区北８西３）

講 演 全国災害ボランティア
支援団体ネットワーク（JVOAD）代表　栗田 暢之（くりた のぶゆき）さん



大規模災害が発生したときに、地域ではどのようなことが起こり、私たちはどのように地域の活動をサポートできるのでしょうか。

全国規模の活動では、東日本大震災での災害対応の課題を踏まえ、今後の国内災害における被災者支援活動をより円滑的にサポートするため、2016 年６月に「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）」が設立されています。『官と民、民間団体同士の連携をつくり出し、支援の抜けや漏れを起こさないために、情報の集約と広域でのコーディネートをするための仕組づくり』を目指し、スタッフが熊本や台風 10 号により大きな被害を受けた北海道にも支援に入られています。

この度は【札幌圏での大規模災害対策を学び、考える】連続セミナー第１回として、JVOAD 代表の栗田暢之氏を札幌に招き、北海道を含めた被災地で起こっていることや JVOAD の活動についてご紹介いただき、地域の団体や市民が緊急時や平時、どのようなことを意識し、行動することが重要なのか、ヒントをいただきます。

参加費 無料

［主　催］　環境省北海道環境パートナーシップオフィス
［連続セミナー協力］　NPO 法人北海道 NPO サポートセンター
認定 NPO 法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」

お申し込み方法等は裏面をご覧ください

［講演者プロフィール］

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）代表　栗田 暢之 さん

1995 年阪神・淡路大震災時に当時勤務していた大学の学生ら、延べ 1,500 名のコーディネーターとして被災者支援にあたったことを契機に、ボランティア団体「震災から学ぶボランティアネットの会」の事務局長に就任。2002 年に同会を発展的に解消して「NPO 法人レスキューストックヤード」を設立。これまで約 40 か所の地震・水害・噴火等の被災地で支援活動を行い、災害に強いまちづくりや人づくりの各種事業に多く携わる。

国や自治体などの防災や災害ボランティア等に関する各種委員会の委員も歴任。震災がつなぐ全国ネットワーク 代表。認定 NPO 法人レスキューストックヤード 代表理事。

・全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）　http://jvoad.jp/
・震災がつなぐ全国ネットワーク　http://blog.canpan.info/shintsuna/
・認定 NPO 法人レスキューストックヤード　http://rsy-nagoya.com/

［対　象］　中間支援組織や市民活動団体、町内会や地域防災組織、行政、ご関心をお持ちの一般の方

［参加費］　無料（定員 50 人）

［お問い合わせ・お申し込み］

環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO 北海道）担当：溝渕
TEL　011-596-0921　FAX　011-596-0931
E-mail　epoh-webadmin@epohok.jp

※FAX またはメールにて、お名前、ご所属、電話番号をお知らせください。
下記「EPO 北海道イベント情報」ページからもお申し込みいただけます。
http://epohok.jp/eguide/event.php?eid=46

［今後の予定］この連続セミナーは今年度４回実施します。第２回（11 月以降）では地域の防災計画等を学び、第３回・第４回では参加者の皆さん同士の対話につなげていく予定です。広く、ご関心をお持ちの皆さまにご参加いただければ幸いです。

ＥＰＯ北海道では、メールマガジンの配信も行っています。開催情報もお知らせいたしますので、配信を希望されるアドレスをお知らせください。

よろしくお願いいたします。

